

人間らしく 生きるために



現場での実践は 一人ひとりの肩に

六分会 朽網 勝喜

私が組合運動に意欲的に取り組んだのは、三川鉦の大爆発の後である。ちょうど中央委員になったばかりで、富浦鉦関係の中央委員は、会社の体育館に動員され、おびただしいお金の整理と運搬を家に送り出す仕事だった。四百五十以上の遺体となり、まさに悲しさをこえて物と同じ感じになっていく。

人間が、人間らしく生きるためには、きつと残酷なものはあるまい。このときほど働く者の団結がいかに大切であるかを知らされた。これは、組合の分裂さえなかったなら、会社のテコ入れさえなかったら、このような無残な状況は生まれてなかったであろう。その後、数多くの仲間が殺され、傷つけられていった。これを阻止できるのは働く者一人ひとりの意識の高揚と行動しかないと思う。

三池労働組合も高齢化し、少数になってきたが自分の命と健康と家族を守るために、ますます学習と討論、実践が必要になっていく。



指差呼唱、ヨシ?

十六分会 市成 義弘

新しい年を迎え、人それぞれに将来のことについて思いをめぐらすのが常だろうし、私もそうだったが、近年ではむしろ過ぎた年を振り返るこの方が多くなったように

うで、そして一年間よく働き、がんばったものだと思つた。

会社は、事業あるごとに沿線事業所の景気の停滞を強調し、その影響で港務所も非常にきびしい状況にあるといふが、今年もそれは変わらないだろう。

私の職場でも例外ではなく、きびしさに対応するために、より少ない人員で最大の効率を追求する「生産性向上」が叫ばれるので

ある。忙しさが増えれば、所定の操業日だけでは消化しきれずに、運動、残業、公休出勤など時間外労働がなかなかに強制されてくる。時間外労働については、あくまでも個人の自由意志によるものであり、誰からも強制されるものではないと思うし、会社も一応配慮をしようといふが、すべての労働者にはおぼやかない。

時間外労働については、「会社至上命令」であるといつてはばからぬ職制もあるし、公休日の休みを申し出る、その理由を問われるという突えなようなことも起きてくる。

その結果、月に百時間を超える時間外労働をする労働者が出るように

うなことになる。これは低賃金なるがゆえの悲しさかもしれないけれども、このような超過労働が労働基準法に照らしても問題である。保安上からも重大な問題を内包していると思う。

鉄道運輸の仕事は、一見単純に見えるが一つ間違えば重大災害につながるような危険をはらみ、注意力、確実性が常に要求されることである。労働者の集中力も限界があるし、十分な休憩もとれず勤務につく状態がつづくようであれば、今後どうなるか非常に危惧される。

会社は十二月に入つて「指差呼唱運動」をより強めている。確実に安全に作業を遂行していかうと

【編集部から】 新年特集号は、三池闘争二十五周年交流集会の特集となり、予定していた企画が流れるとともに時間とのたたかひになりました。読みたいという方は「了」承を。



平 トッコ

俳句

四分会 村中 利行

鉦山社宅

赤川 富幸

動くものなく冬干漏れんとす
シクラメン持つ少女乗る夜のバス
「三池闘争の記録」を読んで
凍みる灯のなかに炭住の掛け
坑夫が肩寄せあつた炭住枯草の風
スクラム・歌・カンパロウを寒灯にひろう

元旦 高 棕 龍 生

元旦の先づちははを拝まばや
あかるさのこぼれんばかり初笑
列頭(ふんけい)のともとし妻と属麻祝が
春着着てらしき女となりけり
ばら色の未来描かん初日記

雑句

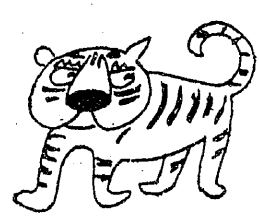
松 永 一 郎

初鳩へ俗心棄つ首もたへ
二日雪一戸に一男一女あり
初鶏老める顔の寅切りぬ
老夫婦たしかな音で数の子囁む

団結の集會照らす初日の出
元旦の握手で無事故を誓い合
真心のこもつた親友(とも)の年賀状
点検は今年も保安の第一歩
新年の「スクラム」固く春闘へ

そのすべてを見つめ
ひっそりといた
暮らした中にある
荒れ果てた鉦山社宅

文芸



短歌 新年雑詠

十一分会 町 佳 郎

六カ月(むつき) 病みしわれをかまいてみたり子を守り来し妻のその細き体(み)よ
戦いの日々民苦しめし機密法四十年経て再(また) たよみがえらせんとす
福祉行政後退著(しる)るきこの国に日々押し寄せる高齢化の波
忙しき日々過ぎ(き)て歳末(とし)の街もの買つた妻の後に従(したが)う(き)めへ
せはめらるる石炭(すす)の道抗(あが)ら(い)つたり鉦鉦がぶる初出の朝

初電話 高 棕 龍 生

孫の声とび出して来る初電話はつめる(こ)のこまで聞(き)こ
しきたりの坑内唄に餅かきさる(こ)より孫の蜜柑をのする
ブレーキをかける新聞少年に元旦の朝動き始めぬ
両腕にひらがる孫の顔をひいて(こ)ときほしや七十七の春
孫の世の末まで核戦争国家機密法断じて許さ(こ)

川柳

山下 みのる

肥後狂句

佐藤 勉

よかつたよかつた今日も定時のわが娘
かたさかたさ四角四面の嫁もち
本気かい無学の俺へプロポーズ
寸足らず親は恨つた適齢期
嬢泣き男が男を知った時

世相イロハ

愛知・春日井 平 野 武

イ 今こそ反核軍縮を
ロ ロン、より世論だ
ハ 春には春闘官民一体
ニ 日本の政治は軍拡路線
ホ 本音で語ろう要求つくり
ヘ 平和憲法守るのたためにも
ト 止まらぬ高齢化夢ある
明日を

チ 小さな世話役大きな団結
リ 罹病もできぬ医療の
ハ 高負担
ニ 抜きん出てる軍事予算
ル 累積の国鉄赤字のツケ
ハ 音もなく忍び寄る戦前
ワ わが家の家計赤字穴埋め
カ 核兵器反対叫べ宇宙まで